

發行編輯人 川崎文治
 印刷所 常盤毎日新聞社
 福島縣石城郡平町長橋町廿五番地

常盤毎日新聞

定価 一月五元 三月十三元 半年二十五元 一年五十元
 郵税 五厘 送料 五厘 印刷所 福島縣石城郡平町長橋町廿五番地

刊夕日七十月六

常盤毎日新聞
 病床寸言 (三)
 川崎文治

先日東京のある出版界から新聞年鑑を編纂するのだと云ふので余の趣味が何だか云ふのを問へ合せて来た、働く事に追ひまわられて居る余には是れが自分の趣味であるかと考へられる様な持ち合せが一つもない、至つて没趣味な殺風景な男である。

基や將基等も人に勧められて稽古をした事がないではないが性来の負け嫌ひの

事として斯ふした勝負事はどうも性分に合はない

其處で自分は考へた揚句に趣味は『食道楽』と書いた、食へる事が自分には命の糧である云ふ事よりも以上に趣味であり道楽である云ふ事の方がふさわしく感じられてならなかつたからである

夫れ程食へ好きであつた自分が今度の病氣で全々美食を禁じられる事になつたのであるから苦痛は是れに過ぎたるはない

腎臓病——トング病氣

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に読める
 川崎文庫
 平町長橋町三五
 (申込次第規則書進呈)

日頃ガラにもなく美食をむさぼつて居た罰と諦めれば納得の出来ない譯でもないが夫れにしてもツイ愚痴の一つも云ひ度くなる。是れも病氣のセイかな (續)

小僧さん入用
 喰へてたいしい
 有野座隣

化粧用
 カクニ石
 壹個十錢
 平町四丁目
 ツルヤ
 電話百四十

音器
 コレ
 駅前
 電話六一

明治製菓會社
 代理店 マツモトヤ



貸柳町金拾二圓
 向人勤
 住宅 白銀町金十圓
 家宅 舊城跡本丸・二丸
 貸地 五丁目表通り
 賣地 五丁目表通り
 加藤營業所
 平白銀町電話三二番

町平
 町屋
 吉田眼科醫院
 電話 五五八番

手拭、消防被服 專染所
 印半天、風呂敷
 小商店員 募集
 弟子さん
 平町五丁目
 吉田染屋工場
 電話 五五八番

親切
 美術諸看板
 硝子金銀文字
 建築ペンキ塗
 其他各種
 迅速

大音堂
 平町四丁目

美味の西・洋・御料理
 經濟の西・洋・御料理
 「御入浴も御隨意ですから御散歩の折には是非御立寄を願ひます」

牛豚
 氷石川亭
 平町田町電話四十三番

清酒 釀造元
 石城郡平窪村
 酒鶴仙
 松吉屋本店
 電話二四一番

内科
 小兒科
 淋病科
 梅毒科
 (需應院人)
 平町紺屋町
 藤沼醫院
 電話四五〇七番

牙科
 森合牙科醫院
 平町二丁目

武者人形
 布座敷
 鯉帳
 平町三丁目
 金太郎
 玩具店

御晝食
 錢十五前人一御
 御香焼吸さ
 飯の物肴物み

料理 一品
 まつや
 うざん。そば。天井。
 親子井。五もく。其他。
 平町長橋町

業務
 扇風機
 一ト
 製浦芝 製立日

平町三丁目 電話六十七番
 中野吳服店

蚊帳が大變出て
 來ました
 蚊帳の仕度は出來ましたか?
 品良く.....値の安い
 品の責任保證附

平町三丁目 電話六十七番
 中野吳服店

五月座敷
 武者人形
 大賣出し
 平町二丁目
 いづや
 平町田町

郵便物の宛名はゼヒ明確に

途中で迷ふものが多い 小松郵便局長談

郵便物の宛名がハッキリしない為めマゴ付、手紙が毎日仙台逓信局に二百通位へ宛はあつて是れが為め二名の事務員が係りまつて其整理に繁忙を來してゐる。それ等の多くは地名等をハッキリ知らず當て推量で書いたり読み惜い略字等を用ひる為め結局郵便物の配達が遅れる事になるのだから宛名は必ず明瞭に書いて貰いたいと小松郵便局長は語つて居た。

戸數割賦課

町會を開く

平町にては來る二十一日午前九時より町會を開き本年度戸數割賦課決定の件を附議する由

石城方面は 繭を賣り急ぐ

農村大景氣

石城郡における春繭出まはりは今期日より最盛期に入り既に五千貫の取引あつたが本年は霜害殆んどなかつたため桑葉の不足は高久平附近一少部分に止まり價格も摘葉一貫五錢乃至四十錢の昨年の五十錢乃至七十錢に比すれば約半値で繭の價格はこれに反し白繭最高十二圓最低十圓五十錢

春蠶の 收繭數量

昨年より増加

石城郡に於ける春蠶收繭數量の予想は白繭七萬四千七百七十二貫、黃繭二萬七千六百四十九貫、合計十萬四千四百廿一貫にして昨年の實收八萬三千三百十五貫と比較し約二萬貫近くの増加を示すであらうと

郵便業務研究

石城郡全部及び双葉郡の一部より成る本縣東部第一區郵便業務研究會は本日午前九時四十分より平町公會堂に於て開會仙台逓信局事務課藤澤氏の講演あつた

花柳病は 去年の倍數

徴兵検査結果

石城郡内壯丁検査は去る一日より十二日まで郡衛にて執行されたが受檢總員は一四八六名にして昨年度人員一三八五名に比し約百名の増加を示してゐるが體格は概して餘り變化はなく甲種五三九名第一乙種二〇六名、第二乙種二九六名、丙種二九三名、丁種五二名で今年は戊種はなく比較的成績良好であつたが昨年度に比

盛況裡に發明展終る

伏見町長から感謝狀

既報元平陽女學校跡の東京發明館主催發明品展覽會は地方人の文化生活に關する知識を向上する上に於て偉大な効果を奏したものと、各方面より感謝されつゝあつたが昨日を以つて盛況裡に閉會を告げた爲め同館梁瀬地方部長は本日諸官衛新聞社等を歴訪し開會中の成績に關して詳細に報告する處あつた因に同館代表者支配人野村莊一氏に對し伏見平町長より左記感謝文を贈つた由



主婦の心がけ

前號に申上げた牛乳の如き主婦が家庭營養についてよく研究を積み、工夫する事は家族保健、わけて乳兒の哺育に非常に關係の多いものです。ごく簡単な料理でも例へば大根卸しの中へキヤベツを刻んで入れ、三味酢か或は醬油等で味をつけ其上へ海苔をかけるを云つた工夫をすれば極めて手早くジイタミンABCを含んだ料理が出来然もこれはどなたも好く滋養豊富な食品になるのです。

新繭取扱高

平驛の 十三日から

平驛貨物取扱所では去る十三日から新繭の輸送を開始したが十六日までに七百三十六口、七千九百三十斤を取扱つた

不平受付

投書歡迎

江筋に石炭殻 平驛で愛谷江筋に石炭殻を投げる、これでは河床が埋まり益々水害等の恐れがある、ゼヒこれは止めて貰はねばならない (注意生)

農家の留守を 視ふて横行

盗人が

最近農繁期に際し家人が野良に働きに出て留守を奇貨として各地にコン泥が横行しつゝある爲め平驛でも頭を悩まし、之が檢舉に全力を傾注しつゝあるが姿を認めないものがないため仲々に逮捕困難の状態にあるので各戸にても充分警戒して防止する様注意を要すると

常磐片々

宛名不明の郵便物が「俺ハア」の行くトコゴどこだんべえ

成程是れでは小松局長の「ボすのも無理はない」

米價は騰貴、繭の値も好況

ソロ／＼景氣が芽を出し初めたかと思ひば一方炭礦では冗員の首をパサリ／＼

而して天陽容易に人を殺さず

夏になつても今の所流行病は誠に少ない由

一定の 収入を得て

勉強が出来る

石城郡湯本町小學校にある入山礦業補習學校は入山炭礦の經營で善良なる炭坑従業者を養成するが爲め普通教育の補習と共に礦業上の智識技能を修めしむるために専門技術者が教鞭をとり實習の報酬金として一日十錢以上三十錢内外を興へ卒業後は會社で相當の地位を與へて優遇するといふ組織で働きながら一定の収入を得て學修するのは郡内には珍らしく成績も非常に良好とのことで評判がいゝ

石城郡長視察

水野 資本金五十萬

石城郡長は昨日武井上席と共に平窪村害虫驅除の状態を視察し更らに田人村に於ける蠶業視察の爲め本日堀内技手と共に出張した

軌道を敷設

片濱街道に

石城郡豊岡村から高久、飯野一箇村を経て平町に達する軌道を敷設し江名町から小名濱町を経て泉驛に通ずる磐城海岸軌道に聯絡せしめ同地方一帯の開発を期せんとする計畫は地方有力家に依つて企てられたが未だ

ラヂオ放送

平銀行前に

同業東京日々新聞社は今朝兩日午後七時から平銀行前

募集

文藝其他投稿

二日一丁目にて皮製蓋口△一丁目飯田一二君は一日昨日聚樂館内にて女用手提袋、男白シャツ鏡にピンを拾ひ夫々此程平驛に届出た